

# 部門費計算 第10問 問題

次の資料にもとづいて、相互配賦法を用いて、補助部門費の配賦表を完成しなさい。ただし、ここに相互配賦法とは、簡便法としての相互配賦法であり、第1次配賦は純粹の相互配賦法によって行うが、第2次配賦は直接配賦法によって行う。また、円未満は四捨五入すること。

(資料)

	合 計	機械加工部	組 立 部	材料倉庫部	動 力 部	工場事務部
第1次集計後 部 門 費	1,794,000円	650,000円	450,000円	294,000円	180,000円	220,000円

用役提供割合	合 計	機械加工部	組 立 部	材料倉庫部	動 力 部	工場事務部
材料倉庫部	1	0.4	0.4	—	0.1	0.1
動 力 部	1	0.6	0.2	0.2	—	—
工場事務部	1	0.3	0.4	0.1	0.2	—

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		機械加工部	組 立 部	材料倉庫部	動 力 部	工場事務部
部 門 費						
第 1 次 配 賦						
工場事務部費						
動 力 部 費						
材料倉庫部費						
第 2 次 配 賦						
工場事務部費						
動 力 部 費						
材料倉庫部費						
製 造 部 門 費						

# 部門費計算 第10問 模範解答

部門費配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		機械加工部	組 立 部	材料倉庫部	動 力 部	工場事務部
部 門 費	1,794,000	650,000	450,000	294,000	180,000	220,000
第 1 次 配 賦						
工場事務部費	220,000	66,000	88,000	22,000	44,000	—
動 力 部 費	180,000	108,000	36,000	36,000	—	—
材料倉庫部費	294,000	117,600	117,600	—	29,400	29,400
第 2 次 配 賦				58,000	73,400	29,400
工場事務部費	29,400	12,600	16,800			
動 力 部 費	73,400	55,050	18,350			
材料倉庫部費	58,000	29,000	29,000			
製 造 部 門 費	1,794,000	1,038,250	755,750			

## 【解説】

(第1次配賦)

工場事務部

機械加工部 ;  $220,000円 \times 0.3 = 66,000円$   
 組立部 ;  $220,000円 \times 0.4 = 88,000円$   
 材料倉庫部 ;  $220,000円 \times 0.1 = 22,000円$   
 動力部 ;  $220,000円 \times 0.2 = 44,000円$

材料倉庫部

機械加工部 ;  $294,000円 \times 0.4 = 117,600円$   
 組立部 ;  $294,000円 \times 0.4 = 117,600円$   
 動力部 ;  $294,000円 \times 0.1 = 29,400円$   
 工場事務部 ;  $294,000円 \times 0.1 = 29,400円$

動力部

機械加工部 ;  $180,000円 \times 0.6 = 108,000円$   
 組立部 ;  $180,000円 \times 0.2 = 36,000円$   
 材料倉庫部 ;  $180,000円 \times 0.2 = 36,000円$

(第2次配賦)

工場事務部

機械加工部 ;  $\frac{29,400円}{0.3+0.4} \times 0.3 = 12,600円$

組立部 ;  $\frac{29,400円}{0.3+0.4} \times 0.4 = 16,800円$

動力部

機械加工部 ;  $\frac{73,400円}{0.6+0.2} \times 0.6 = 55,050円$

組立部 ;  $\frac{73,400円}{0.6+0.2} \times 0.2 = 18,350円$

材料倉庫部

機械加工部 ;  $\frac{58,000円}{0.4+0.4} \times 0.4 = 29,000円$

組立部 ;  $\frac{58,000円}{0.4+0.4} \times 0.4 = 29,000円$